

山 報

高幡不動尊



「ダルマ選び」
四季の部 銅賞 江東区 小池 宏和

お護摩札

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉 田 純 一

過ぎゆく令和六年も、当高幡のお不動さまには、年初の初詣をはじめ、春の国宝まつり、梅雨のあじさいまつり、そして秋の菊まつりやもみじまつり、萬燈会など、数々の行事に多くの方々にご参拝いただき、誠にありがとうございます。また、今年一年を通じて、折々にお護摩や交通祈願にご参加いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

さて、当山のお不動さまのお護摩や交通祈願にお申し込みいただいたお護摩札を、じっくりとご覧になったことがあるでしょうか。今一度、そのお札をよく見てみてください。お札には何が書かれているか、またその形はどのようになっているのでしょうか。

お札に書かれているのは梵字で、その一文字が、お不動さまのお姿を表しています。このように仏さまのお姿を表す梵字を「種子（しゅじ）」といいます。種子の名は、草木の種から芽が出てやがて実を結ぶように、梵字の種子からは多くの功德が生じ、私たちの願いを叶えてくださることにあります。

そして、お札の形は長細い五角形をしており、これはお不動さまが右手に持つ智慧の剣を象徴しています。お不動さまはこの剣によって、私たちのあらゆる煩惱を断ち切るとの誓いを立てられています。真言密教では、このように仏さまが立てた（お誓いを象徴する形）を「三昧耶形（さんまやぎょう）」といいます。また「三昧耶」という言葉には「平等」という意味もあり、それは仏さまと私たちとは本来平等であることを示しています。まさにお護摩札はお不動さまのお姿そのものであり、分身であると同時に、お不動さまと一体となった私たちの姿でもあるのです。

そこで、古くなったお不動さまの分身であるお護摩札は、お寺に一旦お返しいただき、新たなお不動さまの分身をお迎えいただければと思います。最後になりましたが、迎える新しい年が、みなさまにとって素晴らしい一年となるよう、心よりご祈念いたします。

お不動さまの心——(一一三三) 現代の世相から(86) 廣澤隆之

皆さんは人生を変えるような本と出会ったことがあるでしょうか。本は生きるために必要な知恵と励ましを与えてくれることがあります。心に沁みる読書は人生にとってかけがえのないものです。

すでに半世紀以上も前の高校二年生のとき、私はほとんど毎日のようにある駅前の書店で立ち読みをしていました。私が住む山間部へのバスの便がとても悪く、ひどいときには小一時間も待たされることもありましたが、そのようなときの時間つぶしに本屋さんが恰好の場所でした。高校二年生ともなると人生について考え悩む時期です。私も例外ではありませんでした。そしてある女性を好きになり、それがまた悩みを大きくし、生きることの意義をいつも考えるような高校生でした。

そのような私がある時、書店で何気なく手にしたのは岩波文庫の『愛と認識との出発』という本でした。女性を好きになり、しかも人生について悩んでいた私にはこの本のタイトルが不思議にも惹きつけたのでしよう。書棚から本を取り出し、最初のページに眼をやったときの衝撃を今でも忘れることはありません。一行目の書き出しに私の心は震えました。それは次のような文章でした。

哲学者は淋しい甲虫である。故ゼームス博士はこうおっしゃった。

私はそれまで哲学の本を読んだこともなく、また「ゼームス博士」についてはまったく知りませんでした。それでもこの一文に惹きつけられ、バスを待つ時間には本屋さんでの立ち読みをし続けました。そして高校二年生にはいささか難解な一冊を立ち読みだけで読了しました。読み終えると、何かこの本と別れることができなくなってしまい、購入することにしました。

本を読み終えてから購入するということは、その後の人生でも経験することはありませんでした。この本を読み終えた私にとって、日々の頭の中をめぐる

思いが確実に変わっていました。そしてこの小さな文庫本は通学の鞆の中にもいつもありました。そしてこの本の作者である倉田百三の『出家とその弟子』なども読みふけりました。

まさしく私は倉田百三が『愛と認識との出発』の改版の序文で記す想定された読者「生命の春に目ざめて、人生の探究に出發したる首途にある青年たち」の一人だったのです。

その後、私は志望大学を変え、哲学を学ぶ道を選びました。そのような意味で、本屋でのこの本との出会いは私の人生にとってかけがえのない思い出となっています。

さて、今、年老いて病をかかえる身になると書もままなりません。そのような身にとってパリオリンピックは一つのきっかけを与えてくれました。評価が分かれるあの開会式で、ギロチンで処刑されたマリー・アントワネットが幽閉された建物に血を吹き出した彼女と思われる女性の頭がいくつ

も浮かぶ演出に驚きました。私たちには理解できないフランス革命への思いが表現されているのでしよう。この場面をテレビで見た私には、フランス革命後のフランスの混乱期の有名な小説『レ・ミゼラブル(ああ無情)』が思い起こされました。この物語は子どもの頃に読んだ記憶があります。が、きちんとした小説の形で読んでいないことに気づき、読んでみることにしました。

久しぶりに長編小説を読む気になりました。読み始めるとフランスなどの西洋の歴史に関する知識が貧困であったことが痛感



「芝山仁王尊像」田公実筆・江戸時代

され、新たに学び直し、作者ビクトル・ユゴーの政治や社会、また当時のフランスのカトリック教会や庶民の生活などへの深い思いが感じられ、久しぶりに小説を楽しんでいます。パリオリンピックのおかげで年寄りの生活に楽しみをもらえました。やはり本を読むことは楽し

いことです。ところが昨今は活字文化離れが顕著で、書籍の売り上げも減ってきているようです。そして町から書店が次第に消えているようです。またスマホやタブレットで簡単に本を読めるのでますます町の本屋さんの需要がなくなってしまうというともいわれています。この状況はこれからの文化のあり方にも深刻な影響を与えようと思われま。経産省もこの問題に対処しているようですが、この傾向に歯止めをかけられるのでしょうか。

私が経験したように、町の本屋さんで立ち読みをして本に親しむという文化は遠い昔の物語になってしまったのでしょうか。IT先進国であるスウェーデンではタブレットによる教育の効果に疑問がよせられ、印刷された本を静かに読む教育を取り戻そうとしているようです。

心を育む読書を今の時代だからこそ真剣に考えたいものです。清らかな空気と緑豊かな自然、そして読書が若者の心を育むことを肝に銘じたいですね。

廣澤隆之先生のプロフィール
 ●大正大学名誉教授
 ●浄福寺御住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

**境内整備緑化資金
寄進者芳名**
(令和六年八月一日〜十月三十一日)

中野区	黒澤功記
世田谷区	中田勢津子
日野市	八木貞子
匿	名

大提灯奉納者芳名
(令和六年二月一日〜十月三十一日)

世田谷区	蛭子能収
世田谷区	蛭子悠加
世田谷区	井上遥斗
世田谷区	井上希和
世田谷区	井上かのん
世田谷区	井上朝陽
中野区	黒澤功記
中野区	黒澤佳代
中野区	黒澤唯喜子
日野市	黒澤功栄
日野市	長屋昭宏
日野市	平井幸雄
日野市	下田孝治
日野市	平井幸雄
昭島市	高幡不動ござれ市
福生市	福栄講 秋山充典
多摩市	勝又鉄筋工業(株)
多摩市	尾又孝行
多摩市	尾又孝行
藤田	真純

幟旗奉納者芳名
(令和六年八月一日〜十月三十一日)

世田谷区	蛭子能収
世田谷区	蛭子悠加
世田谷区	山中雅晶
世田谷区	山中晴湖
世田谷区	井上遥斗
世田谷区	井上かのん
豊島区	石川勤子
豊島区	石川久雄
国立市	両角時和
日野市	平みつる
八王子市	青嶋寿夫
多摩市	尾又孝行
新座市	井上希和
川崎市	丸山友美

※前号の写真配置に誤りがありました。訂正再掲しお詫びいたします。



「庭湖の景」 テキスト「ときめきの花」より



「嵐峡の景」 テキスト「ときめきの花」より



「高雄の景」 テキスト「ときめきの花」より

景勝の地として知られる京都嵯峨。その中でも特に水の景観が美しい三名所をいけばわすのが「三勝の景」です。

大覚寺門跡推薦教室 いけばな嵯峨御流 [第4回]

一二〇〇年前に中国の洞庭湖を模して作られた、大覚寺大沢池の秋菊薫り立つ池島の景色をいけば表した「庭湖の景」。

桜の名所として知られる嵐山。保津川の清流と対岸に咲き誇る桜の景色をいけば表したのは「嵐峡の景」です。「高雄の景」は京都市の北西、高雄山麓の美しい秋の紅葉と、その足元を流れる清滝川をいけば表しています。
(講師 納富貴甫)



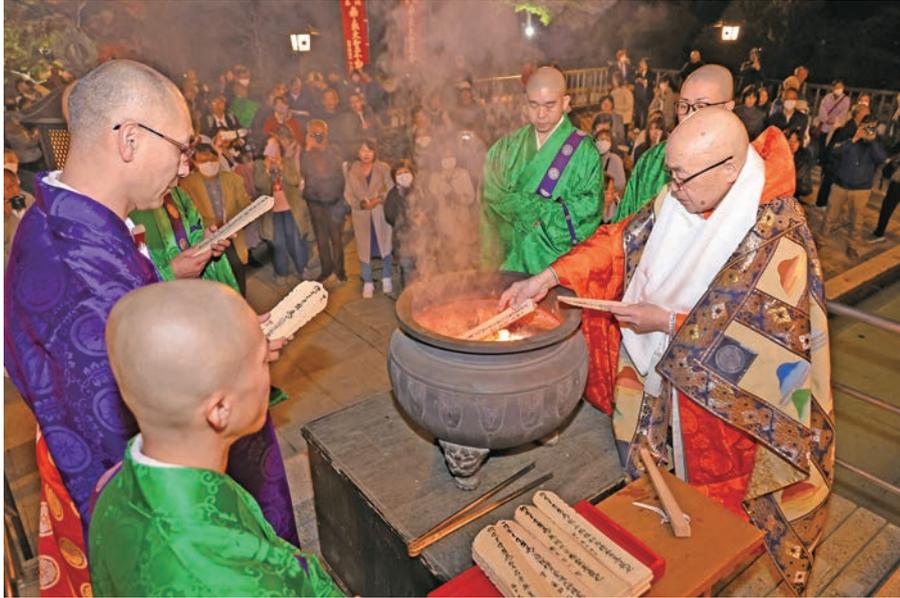
星曼荼羅

◎冬至星まつり

当山では、毎年冬至の晩に不動明王様の御宝前にて来年の当星を供養し、皆様の無病息災と厄除開運をご祈願いたしております。どうぞお申込みいただき良い年をお迎え下さい。

- 一、星祭料 金一、〇〇〇円也
- 一、星祭日 十二月二十一日 午後五時

※祈願終了後、冬至うどんの接待があります。

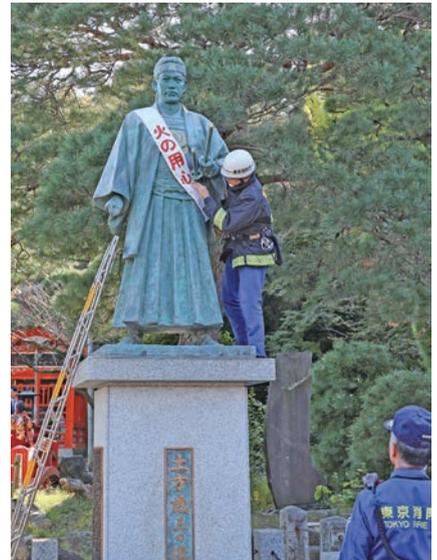


萬燈会経木塔婆供養 11/22

高幡不動尊
フォトニュース



秋季大祭大般若転読付大護摩供 9/28



歳三像にタスキがけ 秋の火災予防運動 11/8



花塚供養 11/23



秋季大祭記念法話 荒井真道先生 9/28



牧宥恵先生「写仏会」 11/15



嵯峨御流いけばな教室のみなさまと 11/22



萬燈会記念法話・田中成明先生 11/22



萬燈会記念コンサート「KOTOKOTO」の皆さん 11/22



審査員の真剣な眼差し・菊審査 11/5



七五三の着付け直し・装道きもの学院の御奉仕 11/3



フラワーアレンジメント・花供養の会 11/23



自衛消防隊へ表彰状授与 10/11

年末・正月・初不動・節分のご案内

◆十二月

○8日(日) フリーマーケット

○13日(金) 煤払い(午前9時)

堂塔や仏さまの一年の煤を山内僧侶達が払います。

○15日(日) お焚き上げ(午前9時)

ござれ市(がらくた市)

○21日(土) 月例写経会(午後1時30分) 法話 山内僧侶

冬至星まつり(午後5時・於不動堂)

星曼荼羅に来年の厄除・開運を祈る行事です。

祈願終了後、冬至うどんの接待があります。

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後2時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 納めの不動尊

お焚き上げ(午前6時・9時)

古い護摩札・お守り・だるま等を納め、一年の無事

を感謝し、来年の安全を祈ります。

○31日(火) 大晦日・除夜の鐘供養

先着一〇八組の方に無料で撞いていただきます。

◆一月

○元旦・2日・3日

元朝祈願大護摩修行

元旦は午前0時、2日・3日は午前6時から大護摩

修行。尚2月11日までの護摩修行は特別の時間帯に

なっておりますのでご注意ください。

自動車の交通安全祈願

元旦は午前0時から午後6時まで、

2日・3日は午前6時から午後6時まで。

○元旦(7日) 日野七福神めぐり(朱印受付)

○12日(日) フリーマーケット

○15日(水) 厄除牛王宝印々可(於不動堂)

弘法大師御作と伝わる秘印のお加持が受けられます。

息災延命・頭痛除けの霊験が知られています。

日野七福神めぐりのご案内

新春恒例となりました日野七福神めぐりを左記の通り実施致しますので皆様方お誘い合わせてご参詣下さい。

尚、ご朱印につきましては『日野七福神めぐり色紙』をおすすめ致します。

記

一、実施期間 令和七年一月一日～七日

一、ご朱印受付時間 午前九時～午後四時

一、七福神色紙 一枚 三〇〇円也(各寺院にあります)

一、ご朱印料 一印 三〇〇円也

※実施期間・時間にはくれぐれもご注意ください。

○布袋尊 宗印寺(平山)

京王線平山城址公園駅より徒歩五分

○大黒天 善生寺(豊田)

京王線南平駅より徒歩十五分

○寿老尊 延命寺(川辺堀之内)

京王線南平駅より徒歩二十分

○弁財天 高幡不動尊(高幡)

京王線・多摩都市モノレール

高幡不動駅より徒歩三〇五分

○毘沙門天 安養寺(万願寺)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○福祿寿 石田寺(石田)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○恵比寿天 真照寺(落川)

京王線百草園駅より徒歩三分



◎日野七福神めぐり色紙

七ヶ寺めぐると記念品をお渡しします。さらに、七分の色紙を集めると記念湯呑を贈呈。



◎ほのほうちわ授与

厄除ほのほうちわは元旦から節分までお頒けいたします。 一体 七〇〇円也



一月一日一番護摩のお申込みは
十二月二十八日までにお願ひ致します

- 19日(日) お焚き上げ(午前6時・9時)
ござれ市(がらくた市)
 - 21日(火) 月例写経会(午後1時30分) 法話 山内僧侶
 - 24日(金) 文化財防火演習(午前9時)
千体地藏尊月例法要(午後2時) 法話 山内僧侶
 - 28日(火) 初不動大祭
稚児行列(お練り)(午後2時)
だるま市 関東各地のだるま屋さんの威勢の良い掛け声が
飛び交い、五万人の人出で賑わいます。
 - 31日(金) 豆煎り式(午前10時)
- ◇二月
- 2日(日) 節分豆撒式・だるま市
豆撒式は午前10時から5回。
どなたでも申込みにより年男として参加できます。
又節分会員になっていただき、お札、お供物を受け
ることもできます。
 - 9日(日) フリーマーケット
お焚き上げ(午前6時・9時)
 - 15日(土) 常楽会(涅槃会) (午後1時法話・2時法要)
お釈迦様が涅槃に入られた日。お釈迦様を追慕し仏
恩に感謝する法要を行います。
法話 板橋区 青蓮寺ご住職
花木 義賢 先生
 - 16日(日) 演題「暮らしの中の仏教」
お焚き上げ(午前6時・9時)
ござれ市(がらくた市)
 - 21日(金) 月例写経会(午後1時30分) 法話 山内僧侶
 - 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後2時) 法話 山内僧侶
 - 28日(金) 月例祭(ご縁日)

節分年男のご案内



◇御本尊不動明王の御宝前に於て攘災招福立春大吉の大護摩供を奉修します。年男としてご参列いただきたくご案内申し上げます。

- 一、日時 二月二日(日)
- 第一回 午前十時
- 第二回 午前十一時
- 第三回 午後一時
- 第四回 午後三時
- 第五回 午後四時
- ※各回、七十名限定、先着申込順と致します。
- 一、式場 不動堂及び宝輪閣二階
- 一、冥加料 金三万円也
- ※袴は当山でお貸し致します。

節分会々員のおすすめ

◇節分当日は早朝から会員の皆様の七難即滅・七福即生の大護摩をご修行致しますので、奮ってご参加下さい。

一、会員には、特別会員(冥加料 一万円) があります。

会 員(冥加料 三千元)

一、当山事務局にて受付し、引替証をお受け取り下さい。

一、立春大吉の護摩札と福豆、供物等をお授け致します。

(参加申込み 二月二日 午後四時まで)



御護摩札の受取場所について



十二月二十八日までにお申込みいただきました元旦護摩はすべて元旦の一番護摩でご祈願致します。お札のお渡しは午前二時頃からです。

一〜三日 客殿二階洋間
四日以降 宝輪閣地階
当日受付のお札は

宝輪閣地階

大護摩札(三万円以上)は
宝輪閣二階



不動堂内お参りの際は下足袋を各自ご用意下さい
ますよう、ご協力をお願い致します。

稚児募集要項

来る一月二十八日(火)の初不動大祭お稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

- 一、日時 一月二十八日(火) 午後一時四十五分より「おねり」
- 一、集合 正午までに高幡山本坊(時間厳守)
- 一、申込 一月二十五日まで
- 一、冥加料 金七千円也
- (お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、衣裳料、化粧料、軽食二人前)
- 一、年齢 三歳〜七歳位まで
- 一、ご準備 服装自由(し)き紐・細紐を各一本(ご持参下さい) 履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。



「国宝まつり」
四季の部 金賞
八王子市 山本 鈍海

◎三ヶ日参詣の 駐車場について

今年も左記の方々のご厚意により、三ヶ日の駐車場を借りできましたのでご利用下さい。

※臨時駐車場ご提供の方々には 東京南農協様・さわやか信用金庫様・食品のおおた様・日野市役所様等の皆様でございます。尚、食品のおおた様は二日まで。

※駐車場には限りがございます。交通渋滞を防ぐ為、出来る限り京王線や多摩都市モノレール等のご利用をお願い致します。

御護摩札郵送のご案内



大護摩札 30,000円以上 長さ 58cm	中護摩札 10,000円 長さ 52cm	護摩札 5,000円 長さ 45cm	護摩札 3,000円 長さ 37cm	懐中札 3,000円 長さ 11cm	交通安全祈願料 3,000円 長さ 15.5cm
------------------------------	----------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------------

当山では御護摩札を郵送により授与する受付を行っています。
 郵送ご希望の方は、必要事項(お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等)をご記入のうえ、郵便(葉書、封書等)、又はFAXでお申し込み下さい。
 御札が届きましたら、同封の払込取扱票で郵便局にてご送金下さい。

※郵便料金・梱包資材の値上げにともない送料を1,500円に致します。(令和7年1月1日から)
 お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡733番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等での申し込みは受付していません。



花木義賢 先生

・演題
 「暮らしの
 中の仏教」



常楽会記念法話

- ・日時 二月十五日(土) 十三時から
- ・会場 大日堂(聴講無料)
- ・講師 板橋区 青蓮寺ご住職



初詣参拝
切絵ご朱印

令和七年一月一日から初詣参拝の切絵ご朱印を授与致します。
 数量限定の特別ご朱印ですので、初詣参拝の証としてお受けいただくことをおすすめします。
 ※事務所(ご朱印所)にてお授けします。混雑が予想されますので、時間に余裕をもってお越し下さい。
 ※一枚、一、〇〇〇円

山内消息

智山専修学院生来山

九月六日、総本山智積院より十一名の智山専修学院生が来山されました。齋藤生徒監、日下副生徒監がご引率され、一行は奥殿、大日堂を拝観し、大護摩修行に参列しました。三日間に及ぶ修行も当山が最後となり、一行は京都へとお帰りになりました。

(佐竹智記)

小峰院下本葬儀(9/10)

真言宗智山派前管長、総本山智積院化主第七十一世、大僧正小峰一允大和尚の本葬儀が、第七十二世化主・布施浄慧院下大導師のもと、ご自坊である練馬の三寶寺にて執り行われました。葬儀には宗内外の僧侶、檀信徒の皆様が参列。当山貫主も随喜し、ご法縁を深謝し、生前のご功績を偲びました。法要中、読経の響きと大勢の方が手向けた香の煙が境内を包み、小峰院下のご人徳を感じました。

(小澤記)



総本山より智山専修学院生ご来山

お花講総会(9/28)

秋季大祭に合わせてお花講

総会が行われ、約百名の講員さん達が総登嶺されました。当日は真言宗智山派教化部長荒井真道先生のご法話を拝聴し、大般若経転読付大護摩供に参加され、声高らかに堂内に響き渡る僧侶の読経の中、皆さんが不動明王のご加護を祈りました。護摩後の祝宴では、一年ぶりに会う講員同士の交流が深められ、来年も会う約束を交わし、楽しいひとときを過ごしました。

(小澤記)

京王沿線古刹「密教の祈り」

十月二日、高尾山麓の高尾599ミュージアムにて京王

沿線古刹「密教の祈り」が開催されました。今年で三回目(初回は深大寺、二回目は高幡不動尊)を迎え、真言声明

と天台声明が披露されました。続いて外の広場にて高尾山薬王院の佐藤秀仁御貫首を大導師に柴燈護摩が厳修され、高尾山薬王院、深大寺、高幡不動尊の僧侶によって般若心経等をお唱えし、世界平和、災害復興を祈念しました。

(上田記)

中学生職場体験

本年も近隣の中学校(打越中学校・日野第四中学校)から生徒の皆さんが九月と十月に御来山され、広い境内の掃除や写経等の職場体験をしていただきました。(杉田記)

多摩八十八ヶ所巡拝結願法要

四月から始まった多摩八十八ヶ所巡拝が十月二十一日・二十七日を以って結願を迎え、八十八番の大師堂を参拝し、記念の大護摩供をご修行しました。二十一日には大護摩の前に智山青年連合会会長・多摩八十八ヶ所第七十七番札所

福傳寺御住職の原祥壽先生によります「お大師さまと食べる」と題した御法話をいただきました。

参加者の皆様は夏の暑さにも負けず、多摩八十八ヶ所各寺院様を参拝しました。巡拝中に怪我や病気が無かったのは、日頃の信心とお大師様の御加護によるものだと思います。

(佐竹智記)

御詠歌川崎大師大会

密厳流遍照講川崎大師奉詠大会が開催され、遍照講高幡山支部の講員十三名が参加しました。この大会は川崎大師の恒例の行事として毎年十一月二日に行われ、当支部は昨年にも続き参加となり、今年も「遍照講やすらぎ和讃」を奉詠しました。開会式では川崎大師平間寺藤田隆乘御貫首様のご挨拶、ご来賓のご紹介があり、各支部の奉詠前には大師幼稚園の園児達の歌声の披露もあり、大会に花を添えました。

(小澤記)

ニューフェイス紹介

本年新しく職員となった遠



大本山川崎大師様にて

藤さんをご紹介します。女性職員の新人は久し振りで、宝輪閣の受付を担当しております。前職では事務職をしていただとの事で、仕事内容に大きなギャップがあるものの、コミュニケーション能力の高さを活かして、山内はもちろんのこと、お参りにいらっしゃるご信者様とも信頼関係を築いているようです。

本人より一言

「宝輪閣にて受付業務を担当しております。

ご参拝の皆様が、笑顔でお帰りいただける様に、心を込めて対応してまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。

遠藤久美子

諸行事に参加して

多摩八十八ヶ所

多摩市 降矢 英文
 初めての参加でしたが、日曜日組の方々は、皆さん二十年〜四十五年の経験者で、親切で、心優しい人達ばかりで、一年間頑張れました。一年では止められないと思っただけです。これを切っ掛けに十一月には四国に三泊四日を出掛けることにしました。来年も宜しくお願い致します。

府中市 大貫 重子
 ご近所に住みながら、やっとならぬと参加することが叶いました。参加された方の中には二十回を越える方がいらっしやってビックリしました。私も遅まきながら二回目の経験をしようと思っております。

清瀬市 沖山 順子
 今年の巡礼は、初回の四月から天候の急変を体験し、お寺さんを目の前にしても、なかなか車から降りられない豪

雨を経験しましたが、何とか結願させていただくことが出来ました。

武蔵野市 上條佐和子
 暑い夏でしたが、おかげさまで元気に過ごせました。感謝します。四月には最後まで続けられるか不安でしたが、皆様に助けられて結願できました。ありがとうございます。

八王子市 川幡 俊一
 合掌、皆様を支えられて多摩八十八ヶ所を巡拝することが出来ました。不動尊の皆さん、運転手さん、各寺院様に感謝とお礼を申し上げます。合掌



結願記念法話 原祥壽先生

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡りを実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友お誘い合せてご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

一、巡 拝 毎月第一週の火・木・日曜日 (五月は第二週)

一、会 費 六〇、〇〇〇円(七回分) 分割納入も可 (納経料・バス代・保険料等を含む)

一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内「龍華会」まで

電話 〇四二五九一〇〇三二番

く 献花のおすすめ

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会(九月二十八日)に御招待(法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待)致します。大勢様ご入講下さいませようご案内申し上げます。

記

一、名 称 高幡山お花講

一、会 費 一ヶ月 五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



第五十三回(十月二十六日～十一月十七日) 高幡不動尊菊まつり

国分寺菊華会

田中 文夫

第五十三回高幡不動尊菊まつり関係各位のご協力とご尽力により、開催が出来ました事に、御礼感謝申し上げます。今年も夏の温暖化の影響を

考え、シエード(八月二十日から二週間、明るい時間が十時間、暗い時間が十四時間位になる様、シエード袋を被せる)しました。開花も、何とか菊が頑張ってくれました。菊作りは色々手が掛かる反面、日々の見守りと手入れにより菊も応えてくれます。

尚、日野市観光協会、高幡不動尊、及び関係各位の皆様

の御尽力に感謝申し上げます。本年も、例年通り十一月五日と十三日に審査が行われ、次の方々が入賞されましたので御紹介致します。

御紹介致します。

上位入賞者(敬称略)

○内閣総理大臣賞

盆養・太管・泉郷星宿

国分寺市 田口 文夫

○文部科学大臣賞

盆養・厚盛・国華八坂

国分寺市 田口 文夫



内閣総理大臣賞

○厚生労働大臣賞

切花・細管・天女の名所

国分寺市 萩生田 稔

○農林水産大臣賞

切花・間管・彩胡三枝

国分寺市 田口 文夫

○環境大臣賞

競枝花盆養・管物・彩胡優美

国分寺市 萩生田 稔

○東京都知事賞

盆養・盆栽地植・村山の御所柳

八王子市 古川 幸義

○日野市長賞

切花・厚走・国華の幸

国分寺市 萩生田 稔

盆養・だるま厚物・国華金山

萩生田 稔

○八王子市長賞

盆養・ジャンボ福助・国華金山

国分寺市 小峰 由彦

○立川市長賞

盆養・細管・泉郷長徳

国分寺市 田口 文夫

○府中市長賞

盆養・厚走・国華の幸

国分寺市 田口 文夫

○昭島市長賞

切花・新花管物・泉郷女星

八王子市 和田 益男

○小金井市長賞

切花・厚盛・新太平の銀峰

国分寺市 萩生田 稔

○小平市長賞

切花・細管・泉郷長徳

国分寺市 萩生田 稔

○国分寺市長賞

盆養・三色花壇・国華金山・強大・越山

多摩市 峯岸 忠

○東大和市長賞

競枝花切花・厚物・彩胡王城

多摩市 峯岸 忠

○多摩市長賞

切花・太管・泉郷情熱

国分寺市 小峰 由彦

○日野市議会議長賞

盆養・間管・彩胡王妃

立川市 橘 勇

○高幡不動尊賞

競枝花盆養・厚物・国華宝器

多摩市 佐藤 勝

○京王電鉄賞

切花・新花厚物・国華摩天楼

八王子市 和田 益男

○大会会長賞

切花・太管・泉郷星宿

国分寺市 萩生田 稔

○審査委員長賞

盆養・盆栽石付・白竜

八王子市 古川 幸義

○理事長賞

盆養・福助厚物・国華越山

多摩市 高斉 滋

○富士電機賞

盆養・懸崖・古河の春

多摩市 峯岸 忠



高幡不動尊賞

切花・厚走・国華の幸

八王子市 堀江 勝年

○日野市商工会長賞

切花・新花管物・国華園賞・泉郷早乙女

多摩市 佐藤 勝

○読売新聞東京本社賞

盆養・福助管物・聖光の朝

立川市 橘 勇

○コニカミノルタ賞

盆養・だるま管物・彩胡優美

国分寺市 萩生田 稔

○東京南農業協同組合長賞

切花・間管・彩胡乙姫

八王子市 和田 益男

○日野自動車賞

切花・一文字・新玉光院

立川市 橘 勇

○富士電機賞

競枝花切花・管物・泉郷星宿

多摩市 福島 正信

奥殿だより 第十回

奥殿展示もお正月

毎年暮れの奥殿の展示替では、新春に向けてお正月らしいものをと心がけております。この度の十二月の展示替えでも、来春に向けてめでたいものや華やかなものを展示しましたので、山報紙上でもご紹介したいと思います。

「徳川時代貴婦人の図 屠蘇」を飾っております。

左右のケースには、日本画の軸を飾りました。左には、明治大正期の日本画壇の重鎮、東京美術学校教授で岡倉天心、横山大観らと日本美術院を創立した寺崎廣業の「天人」を配しました。富士山と二人の天女が描かれております。

右には、寺崎廣業の弟子で、帝展審査員などを歴任した葛谷龍岬の対幅の「平安美人図」を展示しました。大正昭和期を代表する大和絵風画家の作品らしい美人図です。右幅の女性の前には、鏡餅らしきものが見えます。

寺崎廣業の「天人」には、宙を舞う天人の下に富士山が描かれております。初夢で見ると縁起がよいものとして、「一富士、二鷹、三茄子」等と言われますが、展示室1・4に



寿 棟方志功筆

展示室1には、写真で紹介する資料を展示しております。正面中央には、雄渾な棟方志功筆の「寿」、その左右には揚州周延の艶やかな錦絵、「徳川時代貴婦人の図 鏡餅」



鏡餅 揚州周延



屠蘇 揚州周延



天人 寺崎廣業



平安美人図 葛谷龍岬

「一富士」に因み、後藤純男のリトグラフの富士山及び谷文晁の「富嶽図」を展示しております。

奥殿以外にも富士山の絵が飾られております。大日堂には、当山第三十二世貫主秋山祐雅和上と親しかった坂本雅城筆の大作「富嶽」がかけられ

ております。はめられている襖には、江本象岳によるめでたい八福人（恵比寿天、大黒天、毘沙門天、辨財天、福祿寿、寿老人、布袋尊、吉祥天）の絵が描かれております。

奥殿展示と併せて、是非ご覧下さい。（藤井和夫記）

高幡いきもの曼荼羅 ②9

かの博物学者、南方熊楠が情熱を傾けて研究した菌類、とりわけキノコの変幻自在な生態や種類の豊富さは、私達の生き物に対する見かたに大きなパラダイムシフトをもたらせてくれます。

キノコの不思議なところは、胞子をつくる傘状の部分のみならず地下に伸びる菌糸体を含めてひとつの生き物であることで、例えば高幡不動尊の裏山一体を覆い尽くす程の規模になることも少なくないと聞きます。また熊楠はそのような生命の実相や周りの環境を読み替えることで、科学的思考に捉われず大日如来を中心とした真言密教の曼荼羅の構造に到達しているのは興味深いところです。

とはいえ私達がキノコと聞いて思い浮べるのは地上に現れる傘の部分であることは論を待ちません。高幡不動尊の境内や裏山にも季節により多種多様なキノコが発生します。例えば桜の季節にはアミガサダケが、梅雨になるとツチグリの仲間、秋には真つ赤なタマゴダケが顔を出すといったように私達の眼を楽しませてくれます。また植物に生えるキノコやそれを餌とする昆虫など、眼に見える生態系の重層構造が立体曼荼羅のように捉えることが出来るのもキノコや菌類の働き故ではないでしょうか。



タマゴダケ



エリマキツチグリ



アミガサダケ

なにげなくつかっている仏教のことば——中道(ちゅうどう)

選挙の秋が終わり、新たな代表が選ばれました。政治における「中道」とは、保守や革新といった極端な思想に偏らない立場を指す言葉です。

菩提樹の下で悟りを開かれたお釈迦さまは、最初の説法において、いたずらに身体を痛めつ

けるだけの苦行や、欲望のままに快楽にふけるという両極端を避け、心を偏らせずに、中正なる道を歩むべきだという「中道」の教えを説かれました。そして、人々を苦しみから解放

し、安寧なる境地へと導かれました。

私たちの社会も、極端な思想に傾倒することなく、すべての人にとってより良い未来を築くよう、努力していかなければならぬと思います。

(小林靖典)

お不動さま教えて？

ご質問 お不動さまのお護摩の法要では、どのようなお経が唱えられているのか、また、その意味内容はどうなるものなのでしょうか。どうかお不動さま教えてください。(前号のつづき)

お答え はい、お答えします。

前号では『観音経の偈』についてお話をしました。つぎに唱えられるのは『般若心経』です。

数多くあるお経の中で最もよく知られ、そしてよくお唱え、写経されているのは、『般若心経』であることは間違いのないと思います。このように人々に広く受け入れられているのには理由があります。

『般若心経』は、「あらゆる存在には固定的な実体など無い」という《空》の思想を説くいわゆる般若経典群の一つであり、これには『大般若波羅蜜多経』六〇〇巻や、以前にお話した『理趣経』(般若波羅蜜多理趣品)などが含まれています。これらの中でも『般若心経』は、すべて空であることと見抜く智慧の完成の核心を簡潔に説く経典であることが理由に挙げられます。

また、般若経典群には『般若経』をお唱えしたり、書き写したりすることによって、犯した罪を滅することや、苦から解放されるとい

った功德が、しばしば説かれていることも大きな理由で、あの西遊記のモデルとなった三蔵法師玄奘が、新たな仏典を求めてインドに向う途中、悪鬼に襲われた時、『般若心経』をお唱えしたところ、たちどころに悪鬼が退散したという話も伝わっています。

さて、『般若心経』の内容についての詳しい解説は、すでに書店にたくさんある多くのすぐれた解説書に譲ることとし、ここでは、弘法大師空海(お大師さま)が『般若心経』をどのように理解していたのかを、簡単にお話することにしましょう。

お大師さまは、『般若心経』を単に空の教えを説いたお経であるとしただけではなく、小乗仏教や大乘仏教、そして真言密教といったあらゆる仏教の教えを包含するお経であることを示されました。さらに般若菩薩のさとり境地そのものを「揭諦、揭諦、般若、般若、波羅、僧揭諦、菩提、婆伽」という真言によって説いたお経であると説かれています。

真言はお唱えすることにこそ意義があります。それ故、『般若心経』もお唱えすることによって、仏菩薩のさとり境地に到ることができると、お大師さまは考えられたのではないのでしょうか。(次号に続く)

皆様からのお便り

いつもありがとうございます。結婚してから夫と二人でよくお参りさせていただきま

した。いつでも門前に立ちますと丸ごと包みこんで受け入れて下さるようで、ああ来て良かったと思います。

高幡不動尊様は夫も私も大好きで、天気の良い日などは「高幡不動へ行くか」と言

つて、二人でよく出かけたものです。護摩木にお願い事を書いて不動堂で炊き上げてい

御詠歌始めませんか

ただき、そこでご住職のお話をお聞きし、そのあと車いすを押して境内を一周、参道の開運そばを食べて、おまんじゅうを買って帰る、というのがルーティンでした。

二年半前に夫が亡くなりました。あれも時々参らせていた

だいておりませんが、夫が私に高幡不動尊様へいつしよにお参りした思い出を沢山残してくれました。とても嬉しく思っております。

これからもお参りさせていただきます。ありがとうございました。

世田谷区 中野津子



「雪景色」

四季の部 銀賞
昭島市 松島 国五郎

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、彼岸会・萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のお参り御詠歌の新講員を募集します。大勢様にご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名称 遍照講高幡山支部
- 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
- 一、指導 密厳流遍照講師範
- 一、会費 一ヶ月 三、〇〇〇円

(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二、三回 午前十時～十二時

お問い合わせ先 高幡不動尊内「遍照講高幡山支部」
電話 〇四二五九一〇〇三二

現世に

唯独りなる

み仏の

今ぞ涅槃に

入り給うなる

南無や大聖釈迦如来

「大聖釈迦牟尼如来涅槃の御詠歌」

御案内

交通安全祈願

午前九時～午後四時半
午後四時半までにお申込下さい。

ご祈願料

金三、〇〇〇円也

御護摩修行

〇平日 八時・十時・十一時半・一時・三時
〇土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

〇但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

〇緑日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時
〇御護摩料 金三、〇〇〇円也 金五、〇〇〇円也 金一〇、〇〇〇円也

(大護摩) 金三〇、〇〇〇円以上

〇縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館) 午前九時～午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時
参拝料 二〇〇円

(月曜休館) 尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

夏の天候不順で菊まつりも開花が遅れたり出品数にも影響が出たようでしたが丹精を込めた作品が一同に揃うと充分に見応えがありました。

先日京都へ行く機会があり土産に千枚漬を買おうとしたら店頭品物が全く無く今年

は収穫量が少なかったため十二月下旬でないと発送出来ないと言われました。桜の二度咲きがあったりと異常気象が

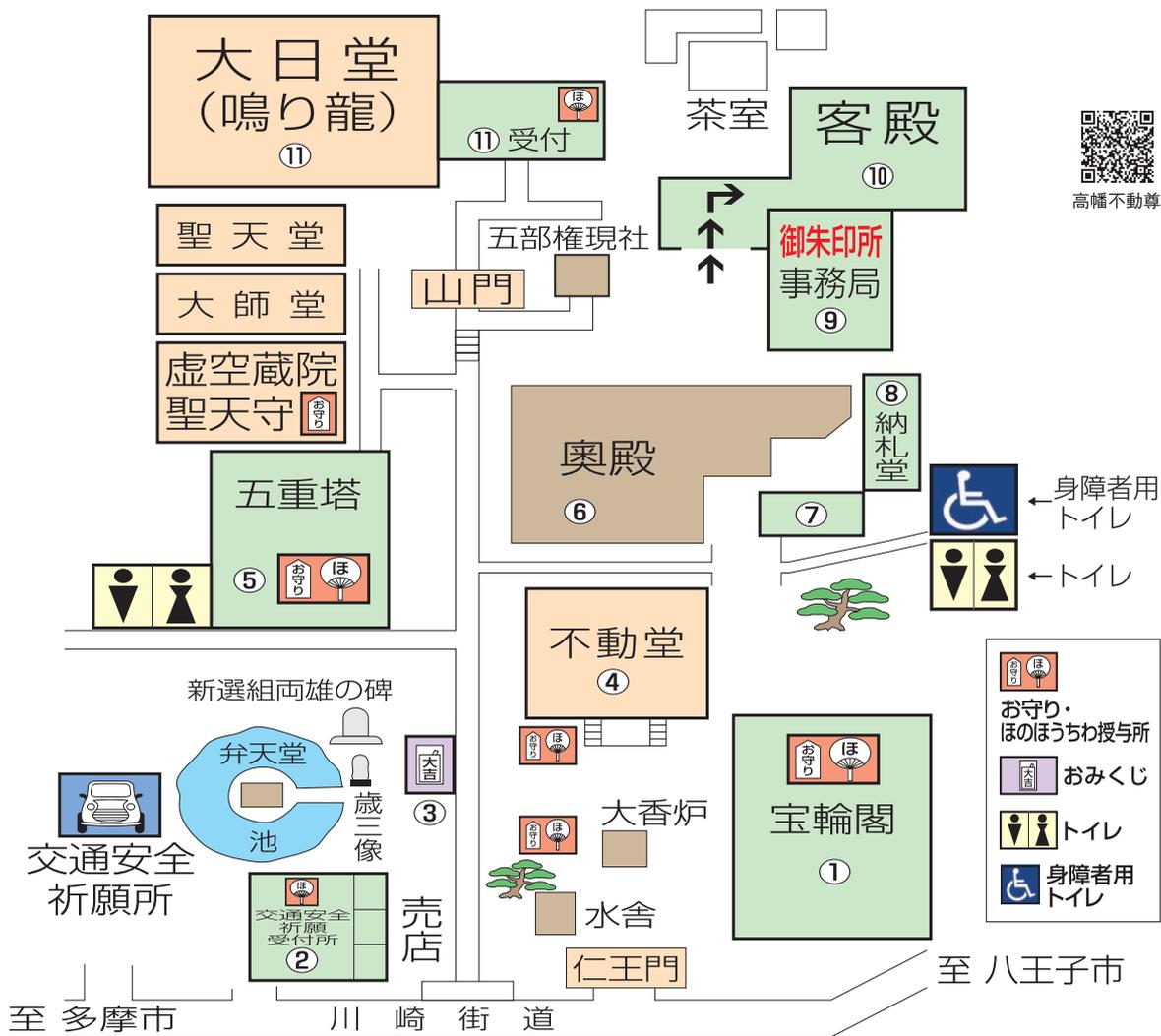
更に心配になります。

十一月に期間限定の切絵ご朱印が好評でしたので正月に初詣限定(九頁参照)のご朱印をお授けいたしますのでご参拝の折にお受けください。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733
別格本山
高幡山金剛寺
電話 (042)591-0032(代)
FAX (042)593-3038
発行人 黒川高德
編集人 黒川高德
年4回発行・再生紙使用

初詣境内御案内図



- ①宝輪閣
1階-護摩受付所、お守・うちわ授与所
地階-護摩札お渡し所
- ②交通安全祈願受付所
- ③おみくじ
- ④不動堂…毎日護摩修行
- ⑤五重塔々院
釈迦三尊像参拝
- ⑥奥 殿…寺宝展会場(指定文化財多数展示)
重文不動三尊像は奥殿正面から自由に参拝して頂けます
- ⑦上杉堂
(百ヶ日忌・水子供養等)
- ⑧納札堂
- ⑨事務局
(総受付・御朱印所)
- ⑩客殿二階
(予約元旦護摩お渡し所)
- ⑪大日堂…鳴り龍・八福神襖絵拝観
位牌堂(歳三位牌等多数)参拝

正月参拝の方は京王線・多摩モノレール・バスをご利用下さい。